

## ▼ #68 いよいよ大逆転の時が近づいた（天の御国が近づいた）16：13－21：22

### ▼ 魚の中からお金のぞき

- 食べ物がない時にパンと魚
- “胴巻に金貨も銀貨も銅貨も入れて行ってはいけません。袋も二枚目の下着も履き物も杖も持たずに、旅に出なさい。働く者が食べ物を得るのは当然だからです。”  
マタイの福音書 10章9－10節
- “そして、旅のためには、杖一本のほか何も持たないように、パンも、袋も、胴巻の小銭も持って行かないように。”  
マルコの福音書 6章8節
- “「旅には何も持って行かないようにしなさい。杖も袋もパンも金もです。また下着も、それぞれ二枚持ってはいけません。」  
ルカの福音書 9章3節
- “それから、イエスは弟子たちに言われた。「あたしがあなたがたを、財布も袋も履き物も持たせずに遣わしたとき、何が足りない物がありましたか。」彼らは、「いいえ、何もありませんでした」と答えた。”  
ルカの福音書 22章35節

### ● 山上の説教とのつながり

### ▼ その後の悔い改めの教えの繰り返し

- ▼ つまずく
  - Mtも 5：29 もしあなたの右の目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に投げ入れられない方が、あなたにとって益である。
  - Mtも 11：6 あたしにつまずかない者は、さいわいである」。
  - Mtも 13：21 その中に根がないので、しばらく続くだけであって、御音のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。
  - Mtも 13：57 こうして人々はイエスにつまずいた。しかし、イエスは言われた、「預言者は、自分の郷里や自分の家以外では、どこでも敬愛されないことはない」。
  - Mtも 26：31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた、「今夜、あなたがたは皆あたしにつまずくであろう。『あたしは羊飼いを打つ。そして、羊の群れは散らされるであろう』と、書いてあるからである。
  - Mtも 26：33 するとペテロはイエスに答えて言った、「たとい、みんなの者があなたがたにつまずいても、あたしは決してつまずきません」。
  - Jhn 16：1 あたしがいざこれらのごとを語ったのは、あなたがたがつまずくごとのないためである。
- からし種の信仰 天の御国

### ▼ ダビデの子よ、あたしをあわれんでください

- Mtも 9：27 そこから進んで行かれると、ふたりの盲人が、「ダビデの子よ、あたしたちをあわれんで下さい」と叫びながら、イエスについてきた。
- Mtも 15：22 すると、そこへ、その地方出のカナンの女が出てきて、「主よ、ダビデの子よ、あたしをあわれんでください。娘が悪霊にとりつかれて苦しんでいます」と言って叫びつづけた。

### ▼ マタイの中でこの段落の役割は？

- 弟子に教える
- 21：23ー 次の段落は、偽善者にさばきを宣告する

### ▼ 段落の話の流れがつかみにくい

- エピソードが短く、異なるテーマが連続する：結婚、子供、富、恵みとテーマが広がり、関連性が見えにくい。
- 当時の文化的背景が分かりにくい：例えば、離婚問題や富に対するユダヤ人の価値観、ばどう園の労働のたとえが現代の感覚と異なる。
- 場面が場所ですら区切られている 大きく4つ

### ▼ 不思議な言い方がしかも繰り返して種教箇所にある

#### ▼ 1 16：13－17：21

##### ▼ 天でつなぐ地でつなぐ 教会？

- “イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、あたしをだれだと言いますか。」シモン・ペテロが答えた。「あなたは生ける神の子キリストです。」すると、イエスは彼に答えられた。「バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるあたしの父です。そこで、あたしもあなたに言います。あなたはペテロです。あたしはこの岩の上に、あたしの教会を建てます。よみの門もこれに打ち崩すことできません。あたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐごことは天においてもつなぐがれ、あなたが地上で解くごことは天においても解かれます。」”  
マタイの福音書 16章15－19節

##### ▼ 山に動け？

- “それから、弟子たちはそとイエスのもとに来て言った。「なぜ私たちは悪霊を追い出せなかったのですか。」イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに言います。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」”  
マタイの福音書 17章19－20節

#### ▼ 2 17：22－18：35

##### ▼ 宮の納入金をなぜ魚の口から銀貨？

- “彼らがカペナウムに着いたとき、神殿税を集める人たちがペテロのところに近寄って来て言った。「あなたがたの先生は神殿税を納めないのですか。」彼は「納めます」と言った。そして家に入ると、イエスのほうから先にこう言われた。「シモン、あなたはどう思いますか。地上の王たちはだれから税や貢ぎ物を取りますか。自分の子たちからですか、それとも、ほかの人たちからですか。」ペテロが「ほかの人たちからです」と言うと、イエスは言われた。「ですから、子たちにはその義務がないのです。しかし、あの人たちをつまずかせないために、湖に行つて釣糸を垂れ、最初に釣れた魚を取らなさい。その口を開けるとスタテル銀貨一枚が見つかります。それを取って、あたしとあなたの分として納めなさい。」”  
マタイの福音書 17章24－27節

##### ▼ 幼子のような信仰ってなんだらう こどもたちは純粋???

- “そのとき、イエスに手を置いて祈っていたために、子どもたちがみもとに連れて来られた。すると弟子たちは、連れて来た人たちを叱った。しかし、イエスは言われた。「子どもたちを来させなさい。あたしのごとこに来るのを邪魔してはいけません。天の御国はこのような者たちのものなのです。」そして手を子どもたちの上に置いてから、そこを去って行かれた。”  
マタイの福音書 19章13－15節

##### ▼ 天でつなぐ地でつなぐ 教会？

- “また、もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで指摘しなさい。その人があなたの言うことを聞き入れるなら、あなたは自分の兄弟を得たことになります。もし聞き入れないなら、ほかの二人か三人、一緒に連れて行きなさい。二人または三人の証人の証言によって、すべてのことが立証されるようにするためです。それでもなお、言うことを聞き入れないなら、教会に伝えなさい。教会の言うことさえも聞き入れないなら、彼を異邦人が取捨人のように扱いなさい。まことに、あなたがたに言います。何でもあなたがたが地上でつなぐごことは天でもつなぐがれ、何でもあなたがたが地上で解くごことは天でも解かれます。まことに、もう一度あなたがたに言います。あなたがたのうちの二人が、どんなごとも地上で心を一つにして祈るなら、天におられるあたしの父はそれをかなえてくださいます。二人か三人があたしの名において集まっているところには、あたしもその中にいるのです。」そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回赦すべきでしょうか。七回まででしょうか。」”  
マタイの福音書 18章15－21節

##### ▼ 7の70倍って・・・

- “そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回赦すべきでしょうか。七回まででしょうか。」イエスは言われた。「あなたは七回までとは言いません。七回を七十倍するまでです。」  
マタイの福音書 18章21－22節

#### ▼ 3 19：1－20：16

##### ▼ 離婚の質問は、なぜ「試みる」？

- “ババサイ人たちがみもとに来て、イエスを試みるために言った。「何か理由があれば、妻を離婚することは律法にかなっているでしょうか。」イエスは答えられた。「あなたがたは読んだことがないのですか。創造者ははじめの時から『男と女に彼らを創造せられ』しました。”  
マタイの福音書 19章3－4節
- “彼らはイエスに言った。「それでは、なぜモーセは離婚縁状を渡して妻を離婚せよと命じたのですか。」マタイの福音書 19章7節
- “青年はこのことばを聞くと、悲しみながら立ち去った。多くの財産を持っていたからである。そこで、イエスは弟子たちに言われた。「まことに、あなたがたに言います。金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。もう一度あなたがたに言います。金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通るほうが見しいのです。」弟子たちはこれを聞くと、たいへん驚いて言った。「それでは、だれが救われることができるでしょう。」”  
マタイの福音書 19章22－25節

##### ▼ 幼子のような信仰ってなんだらう こどもたちは純粋???

- “そのとき、弟子たちがイエスのとこに来て言った。「天の御国では、いったいだれが一番偉いのですか。」イエスは一一人の子どもを呼び寄せ、彼らの真ん中に立たせて、こう言われた。「まことに、あなたがたに言います。向きを変えて子どもたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。ですから、だれでもこの子どものように自分を低くする人が、天の御国で一番偉いのです。また、だれでもこのような子ども一人を、あたしの名ゆえに受け入れる人は、あたしを受け入れるのです。あたしを信じるこの小さい者たちの一人をつまずかせる者は、大きな石臼を首にかけられて、海の深みに沈められるほうがよ

いのです。”

マタイの福音書 18章1-6節

#### ▼ 5くだが針の穴を通る？

- “青年はこのことばを聞くと、悲しみながら立ち去った。多くの財産を持っていたからである。そこで、イエスは弟子たちに言われた。「まことに、あなたがたに言います。金持ちが天の御国に入るのは難しいことです。もう一度あなたがたに言います。金持ちが神の国に入るよりは、らくだが針の穴を通るほうが易いのです。」弟子たちはこれを聞くと、たいへん驚いて言った。「それでは、だれが救われることができるでしょう。」”  
マタイの福音書 19章22-25節

#### ▼ ぶどう園の5時に来た人

- “夕方になったので、ぶどう園の主人は監督に言った。『労働者たちを呼んで、最後に来た者たちから始めて、最初に来た者たちにまで賃金を払ってやりなさい。』そこで、五時ごろに雇われた者たちが来て、それぞれ一デナリずつ受け取った。最初の者たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思ったが、彼らが受け取ったのも一デナリずつであった。彼らはそれを受け取ると、主人に不満をもちた。『最後に来たこの者たちが働いたのは、一時間だけです。それなのにあなたは、一日の労賃と焼けるような暑さを辛抱した私たちと、同じように報いました。』しかし、主人はその一人に答えた。『友よ、私はあなたに不当なことはしていません。あなたは私と、一デナリで同意したではありませんか。あなたの分を取って帰らなさい。私はこの最後の人にも、あなたと同じだけ与えたいのです。自分のもて自分のしたいことをしてはいけませんか。それとも、私が気が配がいいので、あなたはあなんでいるのですか。』”  
マタイの福音書 20章8-15節

#### ▼ 4 20:17-21:22

##### ▼ 宮の両替人を追い出して、強盗の巢にしている！と言う

- “それから、イエスは宮に入って、その中で売り買っている者たちをみな追い出し、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒された。そして彼らに言われた。「『あたしの家は祈りの家と呼ばれる』と書いてある。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巢』にしている。』”  
マタイの福音書 21章12-13節

##### ▼ いちじくの木が枯れる

- “さて、朝早く都に帰る途中、イエスは空腹を覚えられた。道端に一本のいちじくの木が見えたので、そこに行って見ると、葉があるだけで、ほかに何もなかった。それでイエスはその木に「今後いつまでも、おまえの葉はならないように」と言われた。すると、たちまちいちじくの木は枯れた。弟子たちはこれをを見て驚き、「どうして、すぐいちじくの木が枯れたのでしょうか」と言った。イエスは答えられた。「まことに、あなたがたに言います。もし、あなたがたが信じて疑はないなら、いちじくの木に起こったことを起こせるだけでなく、この山に向かい、『立ち上がって、海に入れ』と言えば、そのとおりになります。あなたがたは、信じて祈り求めるものは何でも受け起こすことができます。』”  
マタイの福音書 21章18-22節

#### ▼ 3つあるのが3日目によみがえる予告

- “そのときイエスは弟子たちに、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない、と命じられた。その時からイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらなければならないことを、弟子たちに示し始められた。”  
マタイの福音書 16章20-21節
- “彼らがガリラヤに集まっていたとき、イエスは言われた。「人の子は、人々の手に渡されようとしています。人の子は彼らに殺されるが、三日目によみがえります。」すると彼らはいへん悲しんだ。”  
マタイの福音書 17章22-23節
- “「ご覧なさい。あたしたちはエルサレムによって行きます。人の子は祭司長たちや律法学者たちに引き渡されます。彼らは人の子を死罪に定め、異邦人に引き渡します。嘲り、むちで打ち、十字架につけるためです。しかし、人の子は三日目によみがえります。」”  
マタイの福音書 20章18-19節
- 解決策としては、全体を「神の国の価値観」という一つのテーマでつなげて読むことです。イエスは一貫して、人間的な価値観（地位、富、努力）を逆転させ、神の国の基準（謙遜、服従、恵み）を示しています。また、エピソード一つ一つが弟子たち（特にペテロ）や群衆の誤解を正すために語られています。

#### ▼ 苦難と復活、敗者復活、逆転劇

- “それからイエスは弟子たちに言われた。「だれでもあたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、あたしに従って来なさい。自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、あたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。」”  
マタイの福音書 16章24-25節
- “ですから、だれでもこの子どものように自分を低くする人が、天の御国で一番偉いのです。”  
マタイの福音書 18章4節
- “しかし、イエスは言われた。「子どもたちを来させなさい。あたしのところに来るのを邪魔してはいけません。天の御国はこのような者たちのものなのです。」”  
マタイの福音書 19章14節

- “すると見よ、一人の人がイエスに近づいて来て言った。「先生、永遠のいのちを得るためには、どんな良いことをすればよいのでしょうか。」”  
マタイの福音書 19章16節
- “イエスは彼に言われた。「完全になりたいのなら、帰って、あなたの財産を売り払って貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、あたしに従って来なさい。」”  
マタイの福音書 19章21節

- “そのとき、ペテロはイエスに言った。「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました。それで、私たちは何をいただけるでしょうか。」”  
そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、あたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。また、あたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、財物を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。”  
マタイの福音書 19章27-29節

- “しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。”

マタイの福音書 19章30節  
“このように、後の者が先になり、先の者が後になります。”  
マタイの福音書 20章16節

- “しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になります。”

マタイの福音書 19章30節  
“あなたがたの間では、そうであってはなりません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、皆に仕える者になりなさい。あなたがたの間で先頭に立ちたいと思う者は、皆のしもべになりなさい。人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のためのいのちを代価として、自分のいのちを与えるために来たのと、同じようにしなさい。”  
マタイの福音書 20章26-28節

#### ▼ ほかに・・・

##### ▼ からし種ほどの信仰で山が動く

- “イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに言います。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」”  
マタイの福音書 17章20節

##### ▼ まちがった逆転

- 救されるはずのない者が救われる、負債を赦されたのに赦さない

- 逆転に対して不平を不満 ぶどう園、金持ちの指導者

- 人の子が神の子である

- 救い主が来るのに、ろばの乗っている

- “主よ私たちの主よあなたの御名は全地にあたりなんと力に満ちていることでしょうか。あなたのご感光は天でたたえられています。幼子たち乳飲みみ子たちの口を通してあなたは御力を打ち立てられました。あなたに敵対する者に応えるため復讐する敵を鎮めるために。あなたの指のあざであるあなたの天あなたが整えられた月や星を見るに人とは何ものなのでしょうか。あなたが心に留められるとは。人の子とはいったい何ものなのでしょうか。あなたが顧みてくださるとは。あなたは人を御使いよりあずかに欠けがあるものとしこれに栄光と誉れの冠をかぶらせてくださいました。あなたの御手のあざを人に治めさせ万物を彼の足の下に置かれました。羊も牛もすべてまた野の獣も空の鳥海の魚海路を通うものも。主よ私たちの主よあなたの御名は全地にあたりなんと力に満ちていることでしょうか。”  
詩篇 8篇1-9節

- “「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるからです。柔和な者は幸いです。その人たちは地を受け継ぐからです。藪に飢え渇く者は幸いです。その人たちは満ち足りるからです。あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるからです。心のよき者は幸いです。その人たちは神を見るからです。平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。あたしのために人々があなたがたをのしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。喜びなさい。大いに喜びなさい。」”天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々と同じように迫害したのです。”  
マタイの福音書 5章3-12節

#### ▼ 天と地がつながってる？天国のかがしは地にある ここからこの段落が始まる

##### ▼ 天でつなぐ「地でつなぐ」教会？

- “イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、あたしをだれだと言いますか。」シモン・ペテロが答えた。「あなたは生ける神の子キリストです。」すると、イエスは彼に答えられた。「バルナバ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるあたしの父です。」

そこで、あたしもあなたに言います。あなたはペテロです。あたしはこの岩の上に、あたしの教会を建てます。よみの門もそれに打ち勝つことはできません。  
あたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐことは天においてもつなぐがれ、あなたが地上で解くことは天においても解かれます。”  
マタイの福音書 16章15-19節

- 教会（集会・会衆・人々の集い、呼び出された人たち）

▼ 主イエスは、「神の子キリストである」と信じるのが「天国のかぎ」

- “なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたことと信じるなら、あなたは救われるからです。  
人は心に信じて善と認められ、口で告白して救われるのです。”  
ローマ人への手紙 10章9-10節
- “まことに、私が今日あなたに命じるこの命令は、あなたにとって難しすぎるものではなく、遠くかけ離れたものでもない。これは天にあるわけではないので、「だれが私たちのために天に上り、それを取って来て、私たちが行えるように聞かせてくれるのか」と言わなくてよい。  
また、これは海のかたにあなたにあるわけではないので、「だれが私たちのために海のかたに降り、それを取って来て、私たちが行えるように聞かせてくれるのか」と言わなくてよい。  
まことに、みことばは、あなたのすぐ近くにあり、あなたの口にあり、あなたの心において、あなたはこれを行うことができる。”  
申命記 30章11-14節
- “モーセは、律法による善について、「律法の・を行う人は、その・によって生きる」と書いています。  
しかし、信仰による善はこう言います。「だれが天に上るのか」と言ってはならない。」それはキリストを引き降ろすことです。  
また、「『だれが深みに下るのか』と言ってはならない。」それはキリストを死者の中から引き上げることです。  
では、何と言っていますか。「みことば」は、あなたの近くにあり、あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは、私たちが「盲べ」伝えている信仰のことばのことです。”  
ローマ人への手紙 10章5-8節

▼ 天の御国の基準とこの世の王国の基準

- 眼に見えるこの世の栄光繁栄成功を求めるのか
- ▼ 天の目で見えた栄光繁栄成功を求めるのか
  - 本来の眼に見える栄光繁栄成功につながる
  - 地を天のレベルに引き上げる 天と地がつながるために 天国のかぎは
- 兄弟の罪を赦し合うことが天の御国のかぎを持つ者の信仰の表れ
- “このキリストにおいて、私たちはその血による・い、背きの罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。この恵みを、神はあらゆる知恵と思慮をもって私たちの上にあふれさせ、みこころの豊義を私たちに知らせてくださいました。その豊義とは、キリストにおいて神があらかじめお立てになったみわざにいたがよい、  
時が満ちて計画が実行に移され、天にあるものも地にあるものも、一切のものが、キリストにおいて、一つに集められることです。”  
エペソ人への手紙 1章7-10節  
“教会はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです。”  
エペソ人への手紙 1章23節

▼ 逆転の勝利は、はじめから書かれていた創世記3：15の成就

- “あたしは敵愾を、おまえと女の間、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ち、おまえは彼のかかとを打ち。”  
創世記 3章15節